

## FIDIC News April 2012 抄訳

訳責: 国際活動委員会 CB 分科会

この抄訳は若手メンバーの翻訳を分科会で監修したものです。

### A. 活動(FIDIC -Activities)

#### A.1 アフリカ会議が持続可能なプロジェクトを推進する (Africa Conference Pushes Sustainable Projects)

4月29日から5月2日までザンビアのリビングストンで開催される今年のGAMA/FIDIC アフリカ会議のための最終準備が進められている。今年は、持続可能な経済発展のための開発プロジェクトにおけるコンサルティングエンジニアの重要な役割が焦点となる。



アフリカ会議においては、保健衛生、生活水準、経済発展及び教育の改善度合いを測る中心的な指標と共に国連ミレニアム開発目標についても注目が必要である。詳しくは FIDIC ウェブサイト(FIDIC website)を参照されたい。FIDIC 会長の Geoff French

と FIDIC 常務理事の Enrico Vink が FIDIC を代表し、コンサルティングエンジニア業界に関する会議と能力開発に関する会議に参加予定である。

#### A.2 FIDIC 大会 2012 - ソウル、韓国(FIDIC World Consulting Engineering Conference 2012 Seoul, Korea)

FIDIC ソウル大会の登録がまもなく開始される。この会議は、コンサルティング業界のために FIDIC が主催する 99 回目の大会であり、主要なテーマとして、グリーンエコノミーの成長(韓国をはじめ、多くの国々で見られる)、グリーンテクノロジー及びグリーン調達の出現に焦点を当てる。



World report の最新版の発表を通して、FIDIC 会議では、持続可能な開発に関連

する多くの問題を明確にすることを目指している。同様に、将来の持続可能なインフラを発想し、デザインし、そして実現させるためにコンサルティングエンジニアが取るべきビジネスモデルについて飛躍的な転換が提案されるであろう。建設環境への将来的な投資に関する議論を活発化させるため、グリーンポリシー及びグリーンプロジェクトのケーススタディと実例が紹介されるだろう。この会議は、自国のグリーン成長戦略を推し進める韓国政府が強力に支援しており、75 か国からおよそ 1000 人の出席者が見込まれる。コンサルタント業界にとってソウルを調査する絶好のこの機会が、世界有数のコンサルタント会社及び多くの顧客、そしてその他の利害関係者へのインセンティブとなるだろう。更なる情報は大会ウェブサイトで。

#### A.3 アジアでの事業協力への取り組み (Asian Region Focus on Collaboration)

FIDIC・ASPAC・TCDPAP 大会が 3 月 2 日から 3 日にかけてコロンボにて開催された。アジアではインフラへの大きな投資が至る所で行われており、企業間のネットワークづくりや事業協力の機会を促進する目的で、16 のアジアの国々から 200 人余りの参加者が集まり、情報や技術伝搬の経験が共有化された。



国際的なコンサルティング業界の概要では、各地で発展と拡大が続き、多

国籍企業や地元のコンサルティング企業の重要性が増していることが強調された。大会でのプレゼンテーショ

ン資料は大会ウェブサイトから入手可能である。大会を通じて FIDIC と ASPAC は Strategic Partner である BST Global 社と新たなスポンサー契約を結んだ。同社はこの地域で ASPAC がイニシアチブを発揮するために協力する。

## B. 事業展開 (Business-Development)

### B.1 EFCA との統合を発表 (Mergers announced with EFCA committees)

多くの共通した事項を効率よく実施するために、FIDICとEFCAはリスクと責任に関する問題、さらにはより重要になってきている持続性に関する問題について、その活動を統合することに合意した。

この統合によって、契約約款を運用する段階で、さらには、グローバルな課題に対する革新的な解決策の策定と実施が必要とされる過程で、業界に対して新たに登場してきたリスク、そしてすでにあるリスクを特定することに、より一層の精力を傾注することができる。

持続可能性はコンサルティング業界において高いポテンシャルがあると認識されているが、同時に、環境分野の経済発展、環境にやさしい調達、気候変動に関する経済、金融、社会問題において、コンサルティングエンジニアの役割が増すことによるリスクの増大についても認識が必要である。この問題については、9月のFIDICソウル大会でも焦点が当てられる。

加えて、持続可能性委員会の統合により、FIDICの改革部会により引き継がれる作業はより大きな組織の一部、FIDICの気候変動作業部会となる。多くの方たちの働きは、価値あるものとして業界のなかで、高く評価されるであろう。

### B.2 ラテンアメリカへの活動拡大を期待 (Latin American Opportunities Await)

今年の4月16、17日にリオデジャネイロで開催する全米コンサルタント連合 (FEPAC) の年次総会では、ラテンアメリカにおける新しくより良いインフラへの需要の増加に対処するために、官民連携や完全民営化 (政府などから許可 (権利) を得て、資金調達から建設・運営まで完全に民間で行う) 案件を含めたインフラへの投資に焦点を当てる。

地域連合と国際連合の関係を促進するため、FIDIC副会長Pablo Bueno氏が特別招待される。この地域の複数の協会がFIDICに復帰することが期待されている。一方FIDICは、この地区での存在感を増すため、特に、英語のみならずスペイン語でのFIDICトレーニングサービスの増加する需要に対応するために、どうしたらよいかについて調査している。

### B.3 2012 年 FIDIC 若手専門職経営トレーニング・プログラム (FIDIC YPMTF 2012 Programme)

今年度のFIDICによる若手専門職経営トレーニング・プログラムには、20カ国から60人の希望者が登録した。このコースは7ヶ月にわたって開催され、ソウルでのFIDIC世界会議において開催される幾つもの最終セッションの中で完結する。



このコースでは、コンサルティングエンジニア業界における経営の問題に焦点を当て、コースに参加した未来のリーダー達がコンサルティング会社を経営する上で核となる要素について、地域間の微妙な差異だけでなく実用的なケーススタディを理論と交えながら習熟することを目標としている。

## B.4 FIDIC 指導人材の向上 (FIDIC Training Resources Boosted)

初めての試みとなるFIDIC指導者の適格性認定評価が、2011年12月にロンドンで行われた。多くの候補者が厳しい研修を見事に修了し、国際レベルあるいは国内レベルでの指導が正式に認定された。その他の候補者達には、適格性認定を得る前に教育研修(メンター)プログラムへの参加が勧められた。FIDICは進んでその指導者の強化と人員増加に努めるとともに、会員や顧客が質の高い研修を受けるため、より幅広くかつ持続的なサポートを提供する。

## C. 実務 & 契約約款 (Business-Practice & Contracts)

### C.1 FIDIC 標準契約約款 MDB 版会議の登録始まる (MDB Conference Registration Opens)

2011年ブリュッセルにおいて初開催されたFIDIC/国際開発金融機関会議の成功に続いて、2度目の会議が今年6月25日、26日の2日間に渡って開催される。国際開発金融機関の資金やFIDIC標準契約約款に基づくプロジェクトに関連した様々な問題に言及するほか、今年と同じくFIDIC標準契約約款を使用する多くの2国間金融機関の参加も見られる。ヨーロッパのコミッション、請負機関、建設関係者、労働者、OECD、国連、そして、その他の様々な国際機関による有効な貢献が期待されている。最も重要な議論は、開発プロジェクト(助成基金)の引渡しやマネジメントに関する国際的成功事例やそのような開発活動を行うにあたっての社会的、経済的そして環境責任に関する規範について行われる。FIDICは、FIDIC標準契約約款やEFCA、CICA/EIC、BWI及びその他の提携組織のサポートを得ている。



### C.2 FIDIC/ICC 改訂版 請求払保証のための統一規則 (URDG) (FIDIC / ICC: Revised Uniform Rules for Demand Guarantees (URDG))

ICC は「請求払保証のための統一規則 (URDG ver758)」の改訂を完了した。改訂版 URDG は、18 年ぶりに ICC 理事会によって正式に採択された。改訂版 URDG は 35 の条項を含んでおり、保証のライフサイクルにおける各主要段階での当事者の負債と責務を定める。これらの改訂には、偶発支払の革新的な処置方法や、ある提出文書が保証または念書の下に作成されたものかどうか、あるいは紙面上のものか電子媒体かを判断するためのより正確な用語が含まれている。これらの改訂は、需要に関する棄却率を抑制し、約束手形の確実性を増加させることにつながる事が期待される。新たに定められた規則は、幅広い国内外の契約における金銭債務および履行義務を保証する数千億ドルの請求払保証に適用される。また FIDIC は、2012 年 3 月にその契約委員会の勧告の下 URDG 758 を正式に承認した。保証に関する ICC 書式は、FIDIC 契約約款で参照されており、また、改訂版の規則を作成されたものから徐々に採用していく。



### C.3 プロジェクトの持続可能性経過日誌の出版 (Project Sustainability Logbook Published)

FIDIC およびヨーロッパコンサルティング・エンジニア協会連合 (EFCA) は、国際水準の持続可能性経過日誌 (PSL) の作成について、フランスのメンバー協会 (SYNTEC) が主導権を担うことを支援する。持続可能性経過日誌 (すなわち PSL) は、定期的に更新される基準を用いた構築資産の寿命の全段階を通して、個別の構築資産、あるいは、まとまった一つの資産群に添付されるものとしている。表形式の経過日誌は、特定される構築資産に持続可能な発展をさせたり、その目標を定めたりさせるための手法となる。英語版は、間もなく FIDIC のウェブ

ウェブサイト上で配布され、利用可能となる。

## D. 協会活動 (Industry-Representation)

### D.1 世界銀行・米州開発銀行との会合発表 (World Bank and IDB Visits Announced)

FIDIC 会長の Geoff French 氏および専務理事の Enrico Vink 氏は、4 月 17 日、18 日の両日に世界銀行 (WB) および米州開発銀行 (IDB) の訪問を予定している。

毎年行われる二者相互訪問は、両者の主な優先事項に関する情報交換、また気候変動や汚職、持続可能性を扱う開発プロジェクトの資金調達における財務危機に関して、調達方針や手続きのような共通の話題について議論できる理想的な方法と見なされている。FIDIC 会員協会は、広範囲な議論を実現し、かつ、市場における特定の課題を提起するといった点で協議へ貢献するよう、会議に招待されてきた。

### D.2 EFCA20 周年記念 (European Federation to Celebrate 20th Anniversary)

5 月 24 ~ 25 日にかけて、リスボンにてヨーロッパコンサルティング・エンジニア協会連合 (EFCA) の 20 周年記念式典が開催され、“Taking Hold of Our Future: 私たちの未来を掴む” と題され最近公開された報告書をもとに講演者の紹介が行われる。この会議では、困難な時期におけるビジネス発展のための各種戦略や、顧客満足に関する情報の共有に着目している。この報告書は FIDIC Book Shop にて入手可能である。



### D.3 EBRD 訪問 (Visit to EBRD)

2012 年 2 月、Geoff French 会長を団長とする FIDIC 代表団は欧州復興開発銀行 (EBRD) 関係者と幅広い協議を行った。同銀行副総裁の Fisher 氏はエジプト、モロッコ、チュニジアおよびヨルダンを含む南部・東部地中海地域 (SENED: Southern & Eastern Mediterranean Region) の銀行に対する新プログラムについて語った。このような議論は、多額の投資が行われた CIS 地域 (Commonwealth of Independent States - 旧ソ連諸国) においても同様に行われる予定である。銀行活動の半分以上が非インフラ部門であることから、コンサルタントはエンジニアリング・財務・金融・マネジメントそして認可での助言という分野においても活躍の機会がある。銀行はコンサルタントを直接雇用することが多い。

EBRD は、現在、他の銀行が適用している協調型業務提案依頼書 (RFP) の作成にも参画している。これは、国際融資機関 (MDB) が融資するプロジェクトについて、資格要件を確立し、プロポーザル提出を希望するコンサルティング・エンジニアの参加をより簡素化するものである。コミットされた 2011 年の総投資額は、2010 年時点で、約 90 億ポンド (約 1.2 兆円) まで増加した。

### D.4 FIDIC/IBC ユーザー会議、シンガポール (FIDIC/IBC Users Conference, Singapore)

次回の FIDIC ユーザーアジア会議は、2012 年 6 月 20-21 日にかけて、シンガポールにて開催される。これは、FIDIC の最重要行事であり、一連の FIDIC 契約約款を適切に理解・使用し、効果的に論争を回避または解決するための、FIDIC ユーザー向けの重要な催しである。この会議では、その分野の権威である講演者を通じて、FIDIC 契約約款の地域における活用に特に焦点が当てられるであろう。更なる情報はウェブサイトにて参照可能である。

## D.5 FIDIC ユーザードーハ会議: FIDIC 代表団がカタール 2022 年 FIFA パビリオンを訪問

### (FIDIC Doha Users Conference: Delegates Enjoy the QATAR 2022 FIFA Pavilion)

2012 年 2 月にドーハで開催された FIDIC ユーザー会議において、FIDIC 代表団は 2022 年にドーハで開催される FIFA サッカーワールドカップのパビリオン事務所を訪問した。議論の中やマルチメディアを駆使した 3D プレゼンテーションの中で、この地域の、特にスポーツイベントに係る建設産業を後押しするエネルギーに関する最新情報の一端が示された。公正な契約約款は、このような難しい環境にあるプロジェクトをうまく管理するうえで重要な要素として、再度、普及が推進されている。カタールの 2022 年最高委員会の説明にあるように、すべてのプロジェクトは持続可能性という目標に適合するよう立案される。同目標は環境効率に関するものであり、コンサルティング・エンジニアが革新的な解決策を提案する機会を提供している。

## E..イメージ (Industry-Image)

### E.1 FIDIC100 周年記念賞発表(FIDIC Centenary Awards Announced)

2013 年にバルセロナで開催される FIDIC100 周年記念大会の一部として、FIDIC は 100 周年を祝うだけでなく、CE の業績および我々の生活全般への貢献について広報を支援するために、過去 100 年で最も優れた CE の業績を認定し賞賛したいとしている。



賞の主要「ヘッドライン」カテゴリーは以下の通りである。

- ・過去 100 年間の主要建築プロジェクト
- ・過去 100 年間の主要土木プロジェクト
- ・過去 100 年間のリーディング・コンサルティング・エンジニア

その賞の推薦は FIDIC 会員協会(MA)によって行われる。推薦されたプロジェクトは、会員企業によって計画・設計されたものとし、国際的な認知度、技術的優位性、革新性、耐久性、持続可能性など、多くの評価基準に基づいて判断される。

エントリーは 2012 年 9 月 21 日に締め切られる。

## F.公示 (Announcements)

### F.1 理事会報告 (News from the Executive)

2012 年 2 月にアンマンで開催された会議において、FIDIC 理事会は以下の内容について合意した。

- ・ 新しい 2 つの戦略的目標の追加: 将来の CE 産業界の発展における若手専門職の重要性や、100 カ国以上の中で、国際的なベスト・プラクティスを代表する FIDIC 公認の契約書式の意義を確認していく。
- ・ 中東やアフリカ、アジア、ラテンアメリカといった、FIDIC 活動の主要地域において、FIDIC が保有する資源の開発を促進する: 基本的に FIDIC 研修への高まる需要に応じて、FIDIC は、これら地域への FIDIC の関わりの強化、これら地域グループへのより大きな支援の提供、草の根レベルでの CE 業界の地位向上の促進、を図っていく。
- ・ 2012 年に、FIDIC 理事会に 1 名の欠員が出るが、2012 年の 5 月までに指名が行われる。同理事会は、業界が、会員協会がカバーする全地域から直接代表を輩出し続けることが理想であると述べている。
- ・ 新しい連携プログラムを通じて業界内のコミュニケーションを向上させる。会員協会の継続的な増加が



認められるので、FIDIC 理事会は、連盟と各々の会員協会間の相互コミュニケーションを促進するために、組織連携に、より積極的に関与するであろう。

アンマンでの会議期間中、FIDIC 理事会は、また、アラブ・アフリカコンサルタント連盟や、イスラム圏コンサルティング・エンジニア連盟の代表者と協議を行った。会議は大変有意義であり、研修や会員協会の今後の展開について、より緊密な協調を行うことで合意した。

## G. 会員協会新着情報 (News from the Member Associations)

### G.1 米国コンサルティング・エンジニア協会 (American Council of Engineering Companies)

米国の中小企業庁 (SBA) は最近、新しいエンジニアリング・サービスの標準的規模を 1400 万ドルと設定した。その規模は、年間総収益の 3 年移動平均に基づいており、連邦政府の仕事に関する小さな業務の元請契約の目安や、大きな業務の下請契約の目安として適用される。

SBA は、もともとエンジニアリング企業に対して 1,900 万ドルを標準規模として提案、しかし ACEC は中小企業協会からの情報により、そのように標準となる規模を高くすることによる不利益について数多くの指摘を行った。協議会の取り組みに応じて、SBA はその標準規模を 1,400 万ドルに下げた。これにより数多くの中小コンサルティング会社が連邦政府の仕事に入札できるようになるだろう。(ACEC Coalitions, 2012 年 3 月 Vol. 1, 3 号より)

### G.2 米国コンサルティング・エンジニア協会の政治的着眼点 (ACEC USA Political Focus)

FIDIC 最大のメンバー協会の ACEC は、毎年 2 回の主要な会議を開催する。4 月のイベントでは、米国企業と国家機関に、その下院議員や職員と会談し、政治的プロセスについての知識を深め、業界のために主張するユニークな機会を提供する。

年次総会 & 議会サミット - 2012 年 4 月 15 日 ~ 18 日、ワシントン D.C. 詳細については、ACEC のウェブサイトにて。

### G.3 ボスニア・ヘルツェゴビナコンサルティング・エンジニア協会 (Association of Consulting Engineers Bosnia and Herzegovina (ACE B&H))

ACE B & H は 2012 年 9 月 20 ~ 21 日にサラエボで開催される第 3 回 B & H 道路会議を発表した。このイベントには、計画や道路交通システムの開発、道路管理、建設、保守と点検、環境保護、そしてコンサルティングと道路整備の資金調達の専門家、ならびに科学者やボスニア・ヘルツェゴビナと周辺国の政府代表が集まる予定である。このようなイベントは、バルカン地域で重要な投資と建設活動であると認められている。

詳細については [www.uki.ba](http://www.uki.ba) または電子メール [uki@bih.net.ba](mailto:uki@bih.net.ba) まで。

### G.4 アルバニアコンサルティングエンジニア協会 (Albanian Association of Consulting Engineers (AACE))

AACE はアルバニアの首都ティラナで 9 月 27 日 ~ 28 日にかけて開催され、道路に関する第 1 回アルバニア代表会議を開催する予定である。これは、研究者、エンジニア、メーカー、通信事業者や道路セクターのインフラ管理者の技術と実践経験を意見交換するための国際的レベルでの会合である。

詳細な情報は、ホームページ ([www.ajce.al](http://www.ajce.al)) またはメール ([info@aace.al](mailto:info@aace.al)) にて確認可能である。

### G.5 オーストラリア協会 (Consult Australia)

オーストラリア協会 (CA) の国際シンポジウムは、シドニーにて 7 月 19 ~ 20 日に開催される。様々な分野においてよく知られた成功者たちが、「これからの勝負」と名付けられた革新的な議論に参加することになっている。このトピックスは、会社の前進と専門的な領域のためのアイデアを刺激することを狙っている。ビジネス・エクセレンス、質の高いサービス、高い顧客満足度といったことが議論される。協会はイベント中に 60 周年を祝う。詳細な情報はウェブサイトにて。

### G.6 カナダコンサルティング・エンジニア協会 (Association of Consulting Engineers Canada)

ACEC - インフラの成功 -

現在、カナダのコンサルティング・エンジニアは、連邦政府の長期的なインフラ計画の策定に発言権を持っている。ACEC(コンサルティング・エンジニア業協会)が用意した「ACEA 白書」は政府に好評で、産業界とインフラ計画に取り組むことを約束した。次回の協議会では、以下の 5 つのテーマに基づいたインフラ投資のガイドラインを開発するために、多くの投資家が参加するであろう。

- ・インフラと経済
- ・インフラと環境
- ・インフラと強力なコミュニティ
- ・インフラへの出資
- ・アセット計画と持続可能性

詳細に関しては、“Article”を参照されたい。

### G.7 ベルギーコンサルティング・エンジニア協会 (Belgian Association of Consulting Engineers (ORI))

ORI 誕生 20 周年記念

ベルギーの協会である ORI は、4 月の 20 周年記念イベントのため、スウェーデンの協会(STD)と共同で、スウェーデンで持続可能な都市を開発した Stellan Fryxell 建築士の招待講演を計画している。この革新的なプロジェクトは、都市化の課題に対処していく方向を指し示すものとして、EFCA と FIDIC の両者が認識している。このプロジェクトは、ソウルの FIDIC 会議でも発表される予定である。

以上